

検印

第4学年2組 体育科学習指導案

日時 平成26年10月6日（月）2校時
 場所 体育館
 指導者 教諭 佐々木 志保子
 在籍児童数 32名

1 単元名 セストボール （ボール運動・ゴール型）

2 運動の特性

(1) 一般的特性

ボールを手で操作し、空いている場所に素早く動きながらパスをつないでゴールにシュートする、攻守混合型の運動である。

(2) 児童から見た特性

- シュートやパスが成功し、得点が決まった時に喜びが得られる運動である。
- チームで作戦を立てて、その作戦が成功した時に満足感を味わうことができる運動である。
- △自分が思い通りにボールを取ったり投げたりできなければつまらないと感じる運動である。
- △動き方がわからないと、意欲がなくなってしまう運動である。
- △ボールに恐怖心があると、楽しむことができない運動である。

3 児童の実態

(1) 一般的な児童の実態

本学級の児童は、優しく穏やかな児童が多い。学習に対しても意欲的である。他教科の学習においても積極的に発言をしたり、友達と関わったりしながら活動することができている。休み時間には校庭で鬼ごっこやドロケイなどの遊びを楽しんでいる。

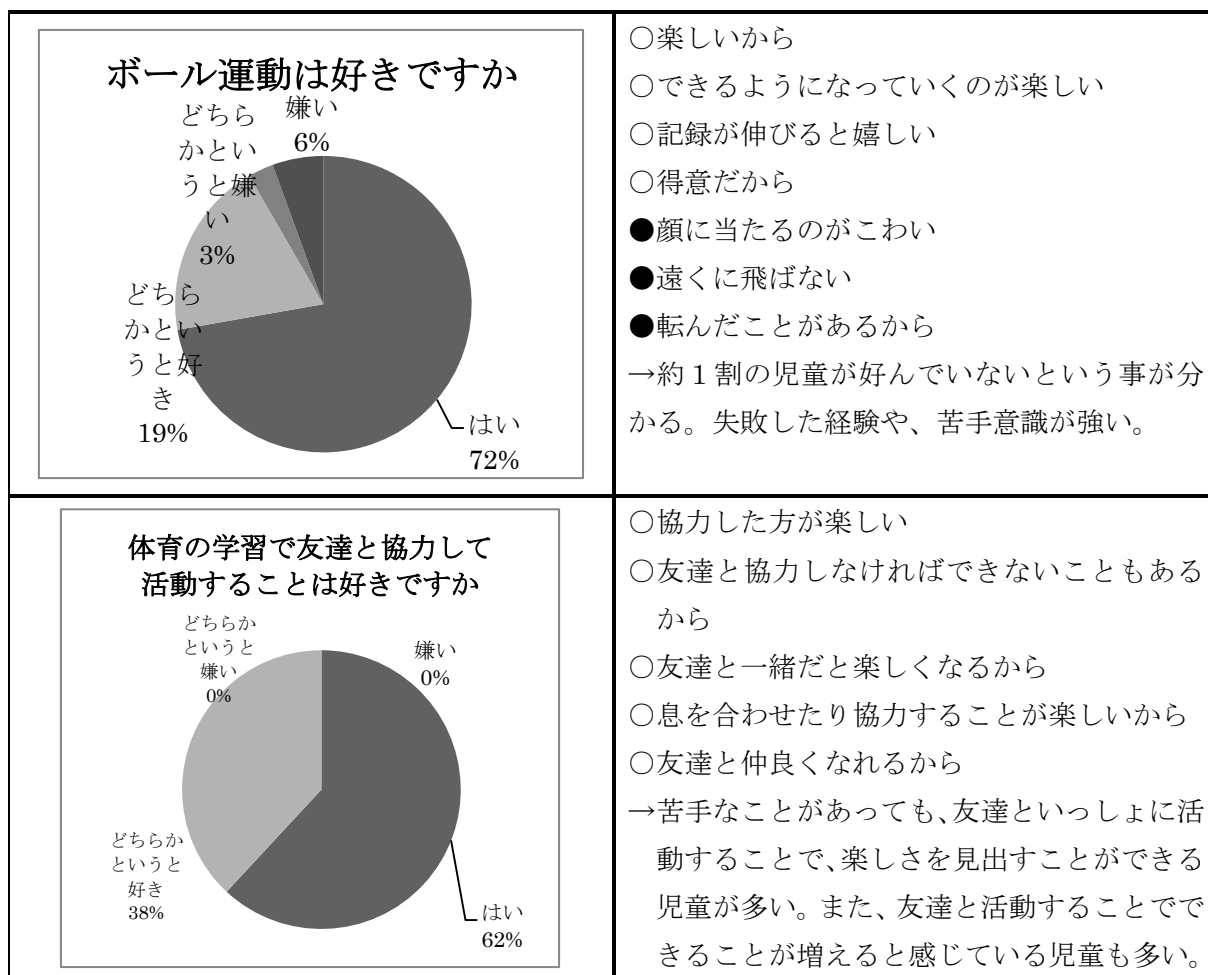
体育の授業では、自分なりのめあてを立てて運動に取り組むことはできている。しかし、めあてに近づくための技術的な工夫や、場を選択したり、作り出したりという点では個人差があり、十分ではない児童もいる。

生活面では、男女で関わり合いながら活動することに抵抗はなく、グループで協力したり教え合ったりする活動は好んでおり、互いを思いやった言動ができる児童が多い。友達が困っているときには優しく言葉をかけることができ、支援を要する児童が自分でできなければいけないことに関しては、本人ができるまで待つなどの関わり方ができる。

(2) 単元にかかわる児童の実態

○意識調査（平成26年9月10日実施）

質問・回答	理 由 ・ 考 察
体育は好きですか はい 71% どちらかという好き 16% どちらかという嫌い 10% 嫌い 3%	☐ 運動が好き ☐ できるようになるとうれしい ☐ スポーツが好き ☐ 友達と仲良くなれる ☒ 運動が苦手 → 8割以上の児童が体育を好んでいることが分かる。苦手意識をもつ児童が体育を好んでいない。



4 教師の指導観

(1) 学習課題と追求しやすくする工夫

- ・基礎基本を身に付けさせる活動において、活動の回数を記録したり、到達度を評価したりする活動を取り入れることで、児童が自らの目標を持って課題に取り組み、一つ一つの動きをしっかりと身につけさせるようにする。
- ・ボールにたくさん触れることで、ボールゲームの特性を味わわせるため、理解→習得の繋がりを大切にした学習過程を計画するとともに、基礎となる動きに継続して取り組む学習過程にする。

(2) 学び合いの場の確保

- ・児童の動きを紹介する時間を確保し、児童同士で互いの良さを認め合えるようにする。また、技能的な言葉かけや励ましの言葉かけの具体例を掲示していくことで、児童同士の言葉かけを具体的ににする。
- ・ペアやグループ同士で動きを見合い、技能面でのアドバイスをする活動を取り入れることで、仲間とともに技能を高められるようにする。

5 単元の目標

- ・運動に進んで取り組み、ルールを守って友達と助け合って練習やゲームができるようにする。
【関心・意欲・態度】
- ・自己の能力に適した課題の解決の仕方や、班の作戦に応じた練習を工夫することができる。
【思考・判断】
- ・安定したパスとシュートの技能を身につけることができ、有効なスペースに走りこんでパスをもらうことができる。
【技能】

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能
- 安全に注意して、運動に進んで取り組もうとしている。 - 意欲的に意見を交換し、友達と協力して試合や練習に取り組もうとしている。	- 自分の課題に応じた練習の場を選んでいる。 - 自分たちのチームにあった作戦を立てている。	- 基礎的なボール操作を身につけている。 - スペースを見つけて、パスをもらうことができる。

7 単元の計画

(1) ボール運動の取り上げ方

	第3学年	第4学年
ゴール型	ラインサッカー⑧	セストボール⑩ ハンドボール⑧ ラインサッカー⑧

	第3学年	第4学年
ゴール型		セストボール⑩ ハンドボール⑧

(2) 学習過程（10時間扱い） 本時は○印 5／10時

	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10
0 10 15 20 30 45	オリエンテーション ・運動の内容の把握 ・学習の進め方の確認 ・慣れの運動・スキルアップタイムの行い方を知る。 ・テストゲーム（児童の実態把握）		集合・整列・あいさつ・健康観察・準備運動 補強運動（タッチキャッチ、ロングパス、壁パス） スキルアップタイム（対面パス、シュート等）	ねらい1 ルールを守り、セストボールに必要な技能を身につけよう。		ねらい2 チームの作戦を工夫して、ゲームを楽しもう。			ねらい3 セストボール大会を楽しもう。	
			・パワーアップタイム ・ミートシュート ・パスゲーム ・ハーフコートゲーム		・タスクゲーム ・アウトナンバーゲーム（3オン1、4オン2） ・メインゲーム ・フルコート					
	集合・整列・整理運動・ふりかえり・まとめ・あいさつ									

(3) 評価計画

時	重点観点	学習活動に即した評価規準	評価の場面	評価方法
1 2	関心・意欲・態度	・セストボールに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	オリエンテーション	観察
3	運動の技能	・パスやシュートができる。	スキルアップタイム	観察
4	運動の技能	・ゲームの中で、パスやシュートをすることができる。	パワーアップタイム	観察カード
5	運動の技能	・ボールを持っていない時に、空いている場所に移動して、パスをもらうことができる。	パワーアップタイム ハーフコートゲーム	観察カード
6	思考・判断	・ゲームでボールを持っていない時に、空いている場所がどこか判断できる。	アウトナンバーゲーム	観察カード
7	運動の技能	・ゲームで空いている場所に移動して、パスをもらうことができる。	メインゲーム アウトナンバーゲーム	観察カード
8	思考・判断	・ゲームの際、自分たちの特徴をとらえて、作戦を立てている。	メインゲーム アウトナンバーゲーム	観察カード
9	運動の技能	・ゲームの際、スペースを見つけて、パスやシュートができる。	メインゲーム	観察カード
10	運動の技能	・ゲームの際、スペースを見つけて、パスやシュートができる。	メインゲーム	観察カード

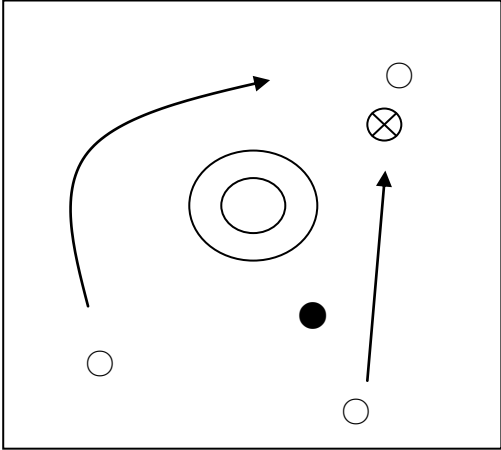
(4) 学習と指導・評価

段階	学習のねらい・活動	指導 (○) 評価 (◆)	評価方法
はじめ 4 5 分 × 2	1 集合・整列・挨拶をする。 2 準備運動をする。 3 学習のねらいと進め方を知り、単元の見通しを持つ。 学習の進め方を知ろう。 4 テストゲームをする。 5 片付け、整理運動をする。 6 まとめをする。 7 挨拶をする。	○服装を整え、気持ち良く挨拶させる。 ○1つ1つの運動を正しく行わせる。 ○どのように学習していくのかを理解させる。 ○補強運動、スキルアップタイムに行う運動を紹介する。 ○安全に用具を片付けられるように指導する。 ◆ 安全に注意して、運動に進んで取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】	観察
なか ① 4 5 分 × 3	ねらい1 ルールを守り、セストボールに必要な技能を身につけよう。 1 集合・整列・挨拶をする。 2 準備運動をする。 3 補強運動、スキルアップタイムに取り組む。 4 学習のねらい・約束を確認する。 第3時 パスやシュートができるようにしよう。 第4時 ゲームの中で、パスやシュートをすることができるようにしよう。 第5時 ボールを持っていない時に、空いている場所に移動して、パスをもらおう。 5 パワーアップタイム ディフェンスを外してシュート 2対1 ミートパス ロングランパス 6 ハーフコートゲーム 7 学習のまとめをする 8 片付け、整理運動をする。 9 挨拶をする。	○服装を整え、気持ち良く挨拶させる。 ○1つ1つの運動を正しく行わせる。 ○ボールに多く触れさせ、技能を身につけさせる。 ○約束や順番を守り、声を掛け合ってチームで協力して取り組ませる。 ○ねらいに沿って運動に取り組んでいる児童を称賛する。 ○ねらいを振り返らせる。 ◆安全に注意して、運動に進んで取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】 ◆自分の課題に応じた練習の場を選んでいる。【思考・判断】 ◆基礎的なボール操作を身につけている。 ◆スペースを見つけて、パスをもらうことができる。【技能】	観察 発問 学習カード

なか ② 4 5 分 × 3	ねらい2 チームの作戦を工夫して、ゲームを楽しもう。 1 集合・整列・挨拶をする。 2 準備運動をする。 3 補強運動、スキルアップタイムに取り組む。 4 学習のねらい・約束を確認する。 ○服装を整え、気持ち良く挨拶させる。 ○1つ1つの運動を正しく行わせる。 ○ボールに多く触れさせ、技能を身につけさせる。 第6時 ゲームでボールを持っていない時に、空いている場所がどこか判断しよう。 第7時 ゲームで空いている場所に移動して、パスをもらおう 第8時 自分たちに合った作戦を立てよう。 5 作戦を立てて、練習する。 アウトナンバーゲーム 6 ゲームを行う。 フルコートゲームを行う。 7 学習のまとめをする 8 片付け、整理運動をする。 9 挨拶をする。 ○本時までの学習を生かして、意欲的に活動できるようにする。 ○ボールを持っていない児童の動きを確認させる。 ○作戦カードを使って、スペースを考えさせながら、作戦を立てさせる。 ○ねらいを振り返らせる。 ◆意欲的に意見を交換し、友達と協力して試合や練習に取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】 ◆自分たちのチームにあった作戦を立てている。 【思考・判断】 ◆スペースを見つけて、パスをもらうことができる。 【技能】	学習カード 作戦ボード 観察
まとめ 4 5 分 × 2	ねらい3 セストボール大会を楽しもう。 1 集合・整列・挨拶をする。 2 準備運動をする。 3 補強運動、スキルアップタイムに取り組む。 4 学習のねらい・約束を確認する。 ○服装を整え、気持ち良く挨拶させる。 ○1つ1つの運動を正しく行わせる。 ○ボールに多く触れさせ、技能を身につけさせる。 第9、10時 練習の成果を生かして、セストボール大会を楽しもう。 5 作戦を立て、練習する。 6 対戦相手を確認し、ゲームを行う。 7 学習のまとめをする 8 片付け、整理運動をする。 9 挨拶をする。 ○ねらいを振り返らせる。 ◆意欲的に意見を交換し、友達と協力して試合や練習に取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】 ◆スペースを見つけて、パスをもらうことができる。 【技能】	学習カード 作戦ボード 観察

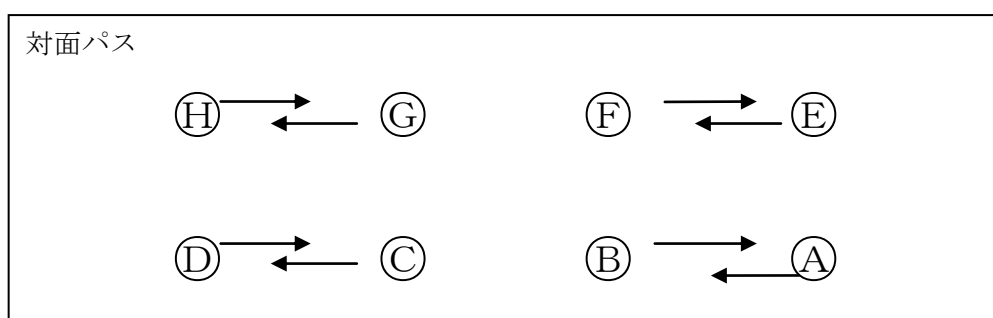
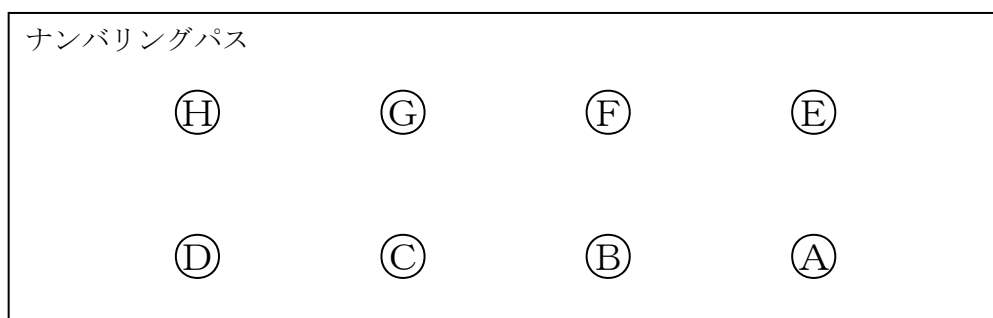
8 本時の学習と指導 (5/10時)

- (1) ねらい 空いているところに移動してパスをもらうことができる。 【技能】
- (2) 準備 児童 学習カード 筆記用具 作戦板セット ビブス
教師 得点板 笛 カラーコーン ストップウォッチ 掲示資料
- (3) 展開

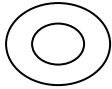
段階	学習内容・活動	○指導 ◆評価規準 △努力を要する児童の手立て
導入 10分	1 集合・整列・挨拶	○ 素早く集合させ、元気よく挨拶をさせる。 ○ 全員の顔色や姿勢を見て、健康観察をする。
	2 準備運動	○ それぞれの運動で模範となる児童を称賛する。
	3 補強運動 タッチキャッチ ロングパス 壁パス	○ 肩、足の動きの可動性に気をつけながら、準備運動させる。 ○ 自分たちでトレーニングを進められるようにする。 ○ 慣れてきた動きでもきちんと意義を確認させてするようにする。
	4 スキルアップタイム ナンバリングパス 対面パス ランパス シュート	○ スローインの膝と手の動きを確認させる。 ○ 声を出し、相手とコミュニケーションを取らせる。 △ ボール操作が未熟な児童については、柔らかいボールを使わせる。
展開 28分	5 ねらいの確認	
	空いているところに長く走って、パスをもらおう。 6 パワーアップタイム ・ ロングランパス 長い距離を走って、パスをもらいシュートする。	○ 攻める際に動線がふさがってしまった時の例を提示し、どのような練習をすれば効果的かを考えさせ、ねらいに対する理解を深められるようにする。 ○ パスをもらったら、しっかり止まることを意識する。 

	7 ハーフコートゲーム (ルール) ・人数 攻め 3人 守り 2人 ・試合時間 各2分 2分間、攻めのチームはずっと攻め続ける。2分たったら、せめと守りを交代する。各チームとも攻めは2回ずつ行う。 ・得点 入る 1点 ・反則 ボールを持っている人が歩くこと ボールを持っている人からボールを取る こと ・守りのメンバーからラインズマン1人、主審1人を出す。 ・攻めチームの中で試合に出ていない児童の中から1名得点係を出す。	○それぞれのグループで、励ましやアドバイスができるようにする。 △十分動けてない児童に対しては、空いているスペースの色に着目させ、動くよう促す。 ◆ボールを持っていない時に、空いている場所に移動して、パスをもらうことができる。【技能】
整理 7分	8 片づけ 9 学習カードの記入 10 整理運動 11 あいさつ	○ 本時のねらいを振り返らせる。 ○ 書くことが苦手な児童については、簡単な記号で評価させる。 ○ ゆっくりと行い、しっかりと筋肉をほぐす。 ○ 気持ちよいあいさつで授業を締めくくるようにする。

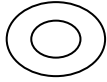
10 場の設定 スキルアップタイム



ランパスシュート



⑤ ⑥ ⑦ ⑧



① ② ③ ④

シュート

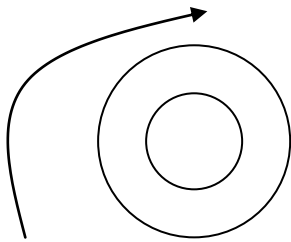
⑧ ⑦ ⑥

⑤ ④ ③

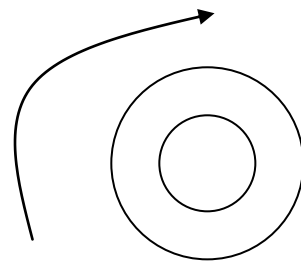
② ① ④

③ ② ①

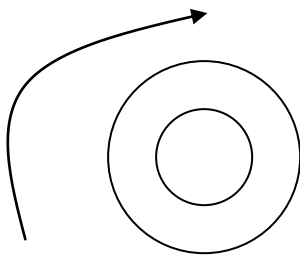
パワーアップタイム



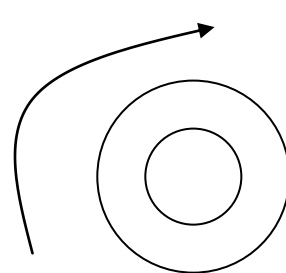
○○○



○○○



○○○



○○○

